

平成23年度指導者研修会

平成23年9月18(日)～19日(月)

熊本公德会武道場にて開催

楊進理事長をお招きして、一日目は協会本部の動向、そして規範教程と稽古要諦に就いての講義、2日目は実際に動いてみよう・・・。
延べ260名の会員が参加され、進先生のユーモアと笑いの中、太極拳の本物を少し取得したような嬉しい余韻が残る研修会となりました。

開会挨拶は丸山副支部長から宣言され6月に荒木支部長が本部理事に就任された旨のお知らせがありました。
これから益々のご活躍を祈念して全員一致大きな拍手での応援が響きわたりました。

荒木ひとみ本部理事・支部長挨拶



組織拡大に伴う協会本部の事務の増大対策、全国的な教室講師の技術力の向上が求められており、地域ブロック制を充実させ、スピーディな対応と協会のパワーアップを図ることとなりました。

熊本支部については、更に発展する為には足元をしっかりと固めなければなりません。まだ、浸透していない地域もあると思います。

これから1人ひとりが健康太極拳の輪を広げ発展させましょう。

なお県支部では新支部長・副支部長及び新理事を推薦の上選任し理事会を通過しております。総会にて正式交代となります。

本日の講義テキストは、楊名時先生が長い年月をかけて集められた文献を、進先生の手により加筆新版されたものです。

私達の太極拳の為に大いに役立つ教本です。しっかり教えて頂いて少しでも本物の太極拳を自分の身に付けたらいいな・・・と思います。楽しんで真剣にやってみましょう。

楊進先生の講義



名時先生の後→ 日本健康太極拳協会理事長として
12年経過しました。

当時14支部で会員 3,000人だった。

現在34支部で会員 10,000人となりました。

この数字は数ある太極拳の中で最も多いでしょう。

ここで、協会の従来組織を見直し効率的な改革を行う
事としました。

(詳細は協会HP及び太極190号参照下さい)



今回の主な研修項目

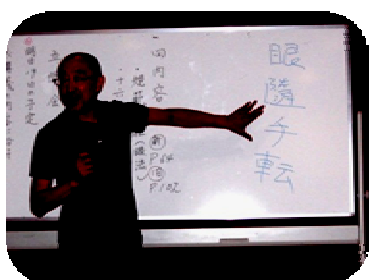
* 規範教程

・眼法 p64 ~ 67

* 稽古要諦

・十六関要訣 p164 ~ 171

・十三勢行功歌 p156 ~ 159



眼
隨
手
轉



腸骨 収胯
肩甲骨

* 技が決まった瞬間は正視する、* 雲手・甩手は、右90度左80度、雲手・手の平前2.8cm
* 中正円転：胴体は股間接で、ウエストは腰で、腕の上下は肩で。

講演の概要については、詳細に記載できればと思いましたが、今回は、項目程度にとど
めました。後は、わかり易く記載されてありますから本を見てジックリ勉強して下
さい。

進先生から講師に対しての心がけとして
是非テキストを視て理解して貰いたいと強調されました。

稽古要諦 P188~190 「あとがき」

太極拳愛好者がこの要訣集をよく勉強することで
知性溢れるリーダが多く生まれるであろう。期待しています・・・と。

～実技指導のいろいろ～



今日18日は熊本藤崎八幡宮秋季例大祭の日でした。

最大の呼び物「神幸行列」 68団体1万6千人の勢子たちが参加。
「ドーカイ、ドーカイ」威勢のいい掛け声で、
飾り馬を引きながらはやし立て、痛快なリズムの
ラッパが祭りを盛り上げていました。

